

吹田市立豊津西中学校

確かな学びをはぐくむ学校づくり推進 校内研修 研究授業

○ 研究テーマ：探求的な学びを実現するためのパフォーマンス課題

○ 日 時：令和8年6月11日（木）

○ 実施学年：2年生

○ 実施教科：社会・技術・保健体育（男子、女子）

【社会（地理的分野）】

○ 単元名：日本の諸地域—九州地方

○ パフォーマンス課題

自然環境や地域住民への配慮も提案する、「持続可能な観光・特産物」パンフレットを作成しよう！

○ 課題設定のねらい

自然環境を生かした産業により経済発展した一方で、外国人観光客の増大による自然環境や地域住民への観光公害が発生している原因と課題を理解し、その解決方法を多面的・多角的に考察させる。

○ 単元計画（本時：★）

- ① 九州・北海道地方の地理的特色を比較する
- ② 九州地方の農業
- ③ 九州地方の産業（北九州の再開発や半導体）
- ④★ 九州地方の観光とツーリズムの課題
- ⑤ 九州、おすすめパンフレットづくり

○ 本時の流れ

1. 九州の主な観光地と観光客数の推移を確認する。
2. 主要な観光地の立地や空間の共通点を考察する。
3. 観光客数が多いことのメリット・デメリットについて考察する。
4. 観光地で生じているオーバーツーリズムの問題点を整理する。
5. 観光と地域住民の暮らしの共存の在り方を考察し、提案する。

○ ルーブリック（本時の達成目標）

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等
A	各観光地が成立してきた複数の要因を踏まえ、九州地方の観光地でのオーバーツーリズムの原因や課題を理解している。	九州地方の自然環境と、地域と観光業における様々な立場を踏まえ、新たな観光業の在り方を提案している。
B	九州地方の観光地が成立してきた要因の一部を踏まえ、オーバーツーリズムの原因や課題を理解している。	九州地方の自然環境と、観光業の現状を踏まえ、観光業の在り方を考察、提案している。
C	九州地方の観光地でのオーバーツーリズムの原因と課題を理解できていない。	地域の現状や特定の課題を踏まえ、新たな観光業の在り方を提案している。

○ 参加者の所感

実社会で起きている社会問題をもとに設定されたパフォーマンス課題であり、正に実践的な生徒の問題解決力が問われる、優れたパフォーマンス課題である。また、ニュースを教材として用いることで、生徒が当事者意識をもって取り組むことができていた。



【技術】

○ 単元名：エネルギー変換の技術

○ パフォーマンス課題

「今後どのようにエネルギーを生産する」ことが私たちの現在・未来の生活にとって、良いのかを考える。

○ 課題設定のねらい

様々な発電方法について、その特徴と課題を知ることによって家庭で利用している電気エネルギー

ギーについて関心を持たせ、これまで様々な開発と工夫が行われてきたことや今後の可能性に気づかせる。

○ 単元計画（本時★）

- ・身の回りのエネルギー変換の技術
- ・発電の仕組み
- ・さまざまな発電方法

★発電方法の最適化

- ・電気を供給する仕組み
- ・エネルギー変換の実験
- ・防災ラジオの製作

○ 本時の流れ

- ・ワークシートの説明をする。
- ・はじめの「あなたの答え」の欄に記入する。
- ・端末を使って調べて、具体的に考えを整理する。
- ・ペアや班で考えを意見交流する。
- ・調べたことやみんなの考えを整理する。
- ・最後に「あなたの答え」の欄に記入する。

○ ルーブリック（本時の達成目標）

	思考力・表現力・判断力	主体的に学ぶ力
A	今後どのようにエネルギーを生産するのが、私たちの生活にとって良いのか。考える視点を具体的に整理している。 複数の視点を満たすことができなくても、深く考えている。	ペアや班で協力して自らの意見を発したり、他者の意見を聴いたりして、積極的に話し合いや課題に取り組む姿勢が見えている。
B	今後どのようにエネルギーを生産するのが、私たちの生活にとって良いのか。考える視点が少し具体的でないようだが、より良い発電方法を見出そうと取り組んでいる。	話し合いでは自分の意見を他者に発信できないなど消極的な面が見られる。
C	今後どのようにエネルギーを生産するのが、私たちの生活にとって良いのか。着眼点が弱く考える視点が整理されていない。	授業に参加せず、授業や課題に取り組む姿勢が見られない。

○ 参加者の所感

生徒たちにとって難易度の高い課題であると感じたが、シンキングツールや端末を使って、しっかりと考え、取り組むことができていた。現代社会が直面している課題に対して、自分の視点で考えることができていた。



【保健体育（男子）】

○ 単元名：バレーボール

○ パフォーマンス課題

バレーボールの楽しさの一つに「ラリーを続ける」がある。生涯スポーツの観点に立った独自のルールを設定し、自チームに得点がたくさん入るように作戦を立て、実践する。

○ 課題設定のねらい

バレーボールの競技力向上だけでなく、自チームの弱いところ、強い（基点となる）ところを把握し、作戦を立て、実践させる。全体を把握する力や協力する力を養う。

○ 単元計画（本時★）

・ルールの確認、ボールに慣れる

→ バレーボールの楽しさを伝え、考えさせる

★パス技術の習得、サーブ技術の習得

→ 得意不得意をグループで共有

・ゲームの進め方の説明、実践

→生涯スポーツの観点に立った独自のルールを設定し、ゲームをする

○ 本時の流れ

1.ランニング・体操・補強運動

2.二人一組に分かれキャッチボール（ボール慣れ）

3.オーバーハンドパスの練習

4.アンダーハンドパスの説明→練習

5.4グループに分かれてサークルパス（※）

6.できる限り多くのパスができるように作戦を考える（※）

7.サーブの練習

8.まとめ、次回の連絡

(※) …評価対象項目

○ ルーブリック（本時の達成目標）

評価	内容
A	Bに加えて、自チームの強み、弱みを理解し、ボールをコントロールしている。 また、フォローが必要な人に寄り添い、全体に声掛けができています。
B	積極的にボールを取りに行く。
C	自分の所へ来たボールを取らない、取れない。 自分の所へ来たボールだけを取る。

この単元の最終目標は、生徒自身が本来のバレーボールのルールで競技してみたいと思わせることにある。周りのことを理解し、技術が高まってきたことを実感できれば、おのずとそのような声が上がってくる。このことを期待し、指導していきたい。

○ 良いパフォーマンス課題となっているか チェックリスト

視点	番号	内容	授業内で見とれたか
本質的な問い	1	ラリーを続ける楽しさを理解している	
	2	ラリーを続けるためにボールを取りに行っている	
	3	どうすればうまくつなぐことができるかグループ内で話し合っている	
	4	うまくいったときや、うまくいかなかったときお互いに認め合い、尊重できている	
永続的な理解	5	得意・不得意にかかわらず、前向きな声掛けができています	
	6	苦手な人も積極的にかかわろうとしている	
	7	苦手な人に対して積極的にかかわらせようとしている	
	8	グループ内での強み弱みを把握し、それに応じた作戦を立てられている	

	9	グループ内で協力して活動しようとしている	
真 正 な 学 び	10	グループ内での役割を理解している	
	11	グループの一員として役割を果たそうとしている	
	12	お互いに傾聴し合うことを大切にしている	
	13	話し合いの中で自分の意見を伝えることができている	

○ 参加者の所感

独自のルールを設定することにより、バレーボールの持つ、競技性が際立ち、生徒のゲームに対する理解が格段に上がり、生徒がしっかりと考えながら授業に取り組むことができている。そのことで、生徒が主体的に授業に参加し、バレーボールが持つゲーム性を楽しむことができている。また、チェックリストを提示することにより、参観者が授業のポイントを掴みやすく、授業者の意図をくみ取りやすかった。



【保健体育（女子）】

○ 単元名：陸上競技 走り高跳び

○ パフォーマンス課題

走り高跳び 「跳べる高さの限界にチャレンジ！」

○ 課題設定のねらい

個々に合わせた跳躍目標を設定している。自らのフォームと適切なフォームを照らし合わせることで課題を把握し、改善する方法を自己や仲間と考え、自己記録の更新を狙う（知識・技能、思考力、主体性を育む）

○ 単元計画（本時★）

- 1、高跳びを体験してみよう
（高く跳躍する方法を考える）
- 2、はさみ跳びにチャレンジしてみよう
- 3、はさみ跳びのフォームのポイントを押さえよう
- 4、はさみ跳びでプレ記録会をしてみよう
- 5、ベリーロールにチャレンジしてみよう
- 6 7、ベリーロールのフォームのポイントを押さえよう
- 8、ベリーロールで記録会をしよう①
- ☆9、ベリーロールの記録会をしよう②

○ 本時の流れ

- 1、自分の映像を振り返る（ワークシート記入）◎
 - 2、ペア・グループでの共有
（課題の確認と新たな課題を発見）
 - 2、各自、準備運動
（高跳びで使う部位を考え、準備運動を行う）
 - 4、ゴム・バーを使用し、ウォーミングアップ
 - 5、課題の検証（記録会の実施）◎
 - 6、まとめ・振り返り
- ◎ …評価項目（パフォーマンス課題）

○ ルーブリック（本時の達成目標）

評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	課題である跳躍方法を用いて、前回の記録を更新または自己記録を達成することが出来る	自らの課題を適切に捉え、改善方法を他者に上手く伝えることが出来る
B	課題である跳躍方法を適切なフォームで跳ぶことが出来る	自らの課題を適切に捉え、改善方法を考えることが出来る
C	課題（ベリーロール）である跳躍方法が出来ない	自らの課題が見つめることが出来ない

○ 参観者の所感

自分が跳んでいる姿を端末を使って客観的に見ることで、自分の課題を明確につかむことができていた。また、そのことが生徒の学習意欲につながり、積極的にグループ内で意見交換が行われていた。自分の身体動作を端末を用いて客観視することの重要性が、よく表れ

た授業であった。



体育男子（バレーボール）

前の時間に習ったパスの仕方をアップに入れることで毎時間繰り返しの練習ができるよう工夫されていました。

常にポジティブな声掛けがあり、もっとがんばろ！という気持ちになる授業でした。



毎時間の繰り返し練習でボールの出し方、返し方を身につけます。



しっかりした声掛けとフォロー体制があるからこそつながるパス回し！

体育女子（走り高跳び）

自分たちの飛ぶ様子をiPadで撮影し、どうすれば今より高く飛べるかを話し合い。上手い人のフォームと自分を比較しながら、イメージを固めます。

周りや先生からのポジティブな声掛けと、自分が飛んだあと、アドバイスをもらいながらより高みを目指します。



撮っていた自分が跳ぶ瞬間を客観的に分析中。アドバイスをもらいながら次につなげます。

先ほどの分析から実証へ。もちろん何度も自分が跳ぶ姿は撮ってもらいます。失敗も成功の元。中には跳んだすぐ後に、自分の動画を先生のもとに持って行ってアドバイスをもらう姿も。



社会 (九州地方)

授業の導入で旅行パンフレットを参考に、どんな情報があるかを確認したあと、資料を使って、オーバーツーリズムの問題について考えていました。



九州地方④ 甲元を聞く問い 観光客が盛んなのはなぜか？観光客の行動は、どう規制するべきか？

資料 「太宰府市」観光客数推移

年	人数(人)
2014	800
2015	900
2016	950
2017	1000
2018	1050
2019	1100
2020	200
2021	500
2022	700
2023	850

資料 「太宰府市」人口

国籍	人数(人)
日本人	70,731
外国人	867
計	71,598

Q: 「太宰府市」の観光客数はどのように推移？・人口と比較すると？

【なぜ、こんなに多くの観光客が来るのか？】
Q①: 「福岡空港」の利用者の特徴は？
(読み取れること) 【福岡空港の訪日外国人の地域の特徴】
(予想される理由) 【位置と移動手段の視点から】

※古くから大船との貿易を行う港町として発展。
→現在も、アジアの主要都市と航空路線とクルーズ船の立ち寄り

資料 福岡空港から各都市へのフライト時間

都市	時間
福岡→大阪	1時間10分
福岡→東京	2時間10分
福岡→上海	1時間10分
福岡→ソウル	1時間20分

資料 九州地方の位置と大まなフライト時間

Q: 観光地がある場所の共通点は？(ヒント: 交通網) (右図参照)

資料 主要な観光地と交通網
(JTBエース JTB セレクト&M [12/6/4/1~9/30 日より利用])

学習課題 観光客が多いと増えるのに、行動規制をするのはなぜ？ 名前()

★九州地方の観光の特徴・課題を捉えよう！
※そもそも…観光客は、多ければ多いほどいいのだろうか？
(観光地に関して、「近くに住む住民」、「お店の人」の視点で評価してみよう！)

教科書 p.170~179 No.13 地理

★ヒント(復習【人口】)
・人口が多い「
」
・この特、増えるのは？

	よいこと	悪いこと・気になること
近くの住民	例) 観光客の移動手段を増	
お店の人		

交通渋滞・道路のごみ
トイレマナーなどの問題が顕在化
資料 観光客の問題を報じるニュース
(2021年 朝日新聞 KBC NEWSより引用)

一観光客の増加によって、一部の観光地では、(地域住民 ・ 観光客) の生活環境の悪化やトラブルが発生。
(=「 ツーリズム」【観光公害】ともいわれる) 例) 遺構院【大分県】、別府【大分県】

Q: 解決するにはどんな方法がある？
(自治体 ・ 観光客 ・ 住民やお店の人) が、

資料 大宰府周辺のゴミ箱
(2022年 朝日新聞 KBC NEWSより引用)

資料 球磨半島
(2022年 朝日新聞 KBC NEWSより引用)

◇学習のまとめ ①そもそも、なぜ観光客が集まってくる？ ②観光客と地域住民のトラブルを改善するには？
主要な観光地は、「立地・交通網」(アジアと九州地方の位置、九州の交通網と観光地の位置) の視点から考えると、
ので訪れやすい。

しかし、多くの観光客が訪れることで、
が問題に、

もし、
という取り組みができたならば、
観光客による生活環境悪化の原因である
という問題を解決できる

そのために、普段から (自治体 ・ 住民 ・ お店の人 ・ 観光客) が、
に取り組むべきだ。

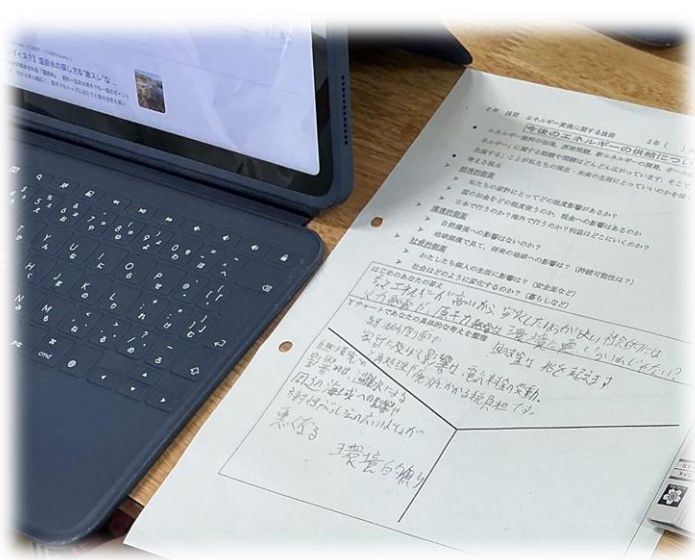
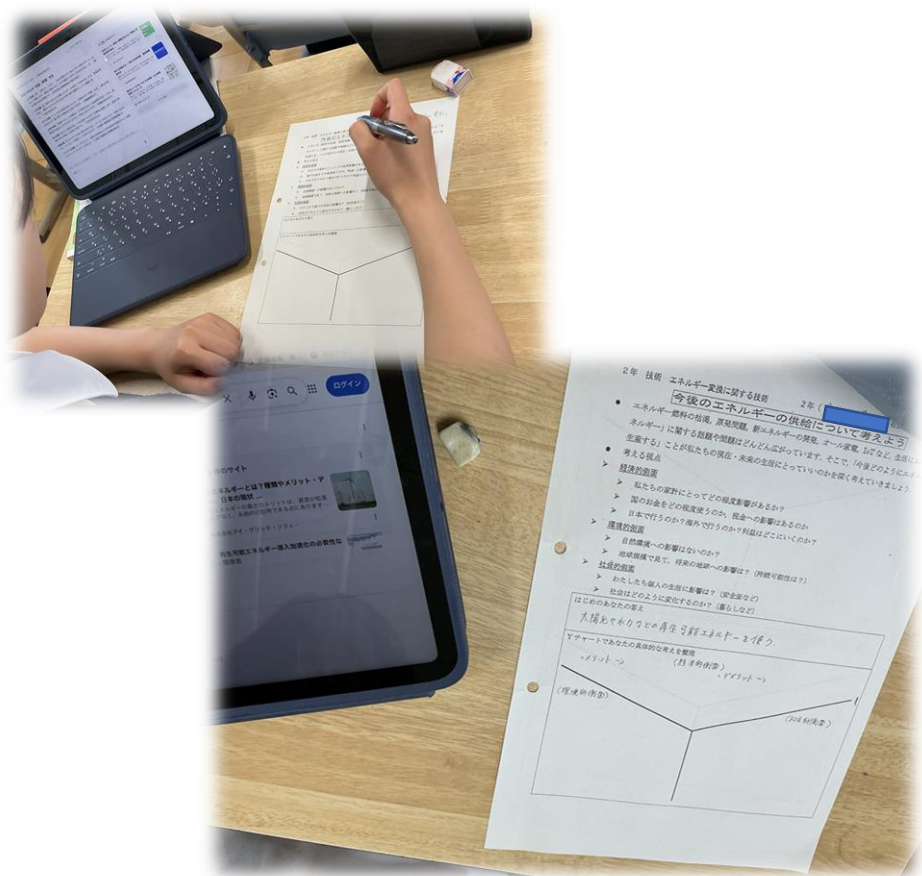
このプリントの内で、分かってほしいことはありますか？ (ある ・ ない)
ある人は、どこが分からなかったか教えてください。

プリントの左で人口の推移、移動距離などの多面的な考えを、プリントの右で実際に起きている問題から多角的な考えを身につけ、自分ごとの問題として考えることができました。

技術（エネルギー問題）

エネルギー問題にどう対応できるか、代替案としてどんなエネルギーを使うのがいいのか、PCや教科書を使いながら考えます

思考ツール（Yチャート）を使い、今のエネルギー問題に対して、代替となるエネルギーの供給方法のメリット、デメリットなど多角的に考えました。



考えた内容を班の中でプレゼン。
チャートを使いながら要点を整理したので、
伝える内容も厳選されました。